

平成30年度市町村提案事業(特別枠)採択状況

No	市町村名	事業名	事業採択日	事業主体	対象事業費 (千円)	補助要望額 (千円)	事業の概要		採択理由
1	富谷市	しんまち地区活性化プロジェクト開宿400年記念事業	8月23日	富谷市	5,254	2,000	目的	富谷市は、2016年10月に市制施行を果たし、外資系大型倉庫店の出店など都市として発展を続けているが、観光面において回遊性を高める取組がなされておらず、地域経済の活性化につながっていない。そこで、創業350余年の宮城県最古の造り酒屋や宿場町として栄えた面影を残す街並みなど、富谷市しんまち地区の観光資源を活かした取組を推進し、市の魅力を市内外に広く発信することで交流人口の拡大と地域経済の活性化、また、富谷地域の従前からの住民と新興団地住民間の親和・交流の促進を図ることを目的とする。	本事業は、当市の歴史的な地域資源「富谷宿」の中心である「しんまち地区」に整備した「富谷市まちづくり産業交流プラザ」（以下「TOMI+」）を起業創業拠点として産業振興を図るとともに同地区を観光資源として活用し、地域経済の活性化や交流人口の拡大等を目指す、行政と市民が協働で取り組む複合的なプロジェクトである。2020年に開催する「富谷宿」開宿400年記念事業に向け機運を高めるために、助走期間として本年度から実施する必要性が高い。さらに、TOMI+を活用した本事業は、富谷市地方創生総合戦略に沿ったものであり地方創生に資する事業であることから、市町村提案事業（特別枠）の趣旨に合致した事業と認められる。
							内容	2020年に開催する「宿場町「富谷」開宿400年記念事業」の機運醸成に向けて行う「富谷街道まつり」の実施にあわせて、しんまち地区に起業創業支援拠点として整備した「富谷市まちづくり産業交流プラザ（とみぶら）」を活用して以下のとおり複合的に事業を展開する。 ・ステージイベントや街道パレードなどの催しのほか、市内で起業を志す人材（「富谷塾」塾生）の参画や人脈の形成、「富谷市まちづくり産業交流プラザ」内チャレンジスペースでのニーズ調査などを実施する。 ・「富谷市まちづくり産業交流プラザ」に入居する富谷市シルバー人材センターが推進する「『富谷茶』復活プロジェクト」と連携した事業を実施する。 ・市民との情報共有・市民同士の交流の場として実施している「わくわく市民会議」を「開宿400年記念事業に向けて」をテーマに実施する。	
2	柴田町	里山ビジネス振興事業	8月31日	柴田町	4,100	2,000	目的	柴田町の里山集落を中心に5か所ある農産物直売所は売上げが下降傾向にあるが、個別では対応に限界があるため、集落間、直売所間で連携した取組が必要となっている。一方、下名生地区や入間田地区に農産物加工施設が開設、上川名地区でもどぶろく製造販売が開始されるなど農業の6次産業化の機運が高まっている。また、グランピングやサイクルツーリズム、醸造酢の生産など里山の風景、歴史、文化を活用した新たな起業の動きが見られる。このような地域の新たな動きに対応するため、事業者同士の新たな関係づくりや地域の人材育成、地域資源の調査、振興計画の策定に早急に着手し、「里山ビジネス」の芽を育て、人やモノ、サービスの循環を図り、地域に稼ぐ力をつけ、里山集落の持続的発展を促すことを目的とする。	本事業は、里山集落の活性化に向けて、地域の特産品や観光資源とサイクルツーリズムやグランピングなどの新たな体験型観光コンテンツを組み合わせる相乗効果を得ながら里山ビジネスの創出に取り組む、モデル性の高い事業といえる。また、地域の新たな動きに早急に対応するために平成31年度に里山ビジネス振興計画を具体化することを想定しているため、本年度から実施する必要性も高い。さらに、里山ビジネス振興は、「柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿ったものであり地方創生に資する事業である。 以上のことから、本事業は市町村提案事業（特別枠）の趣旨に合致した事業と認められる。
							内容	・里山振興体制の整備に向けて地域住民や事業者による協議会の立ち上げ及び人材育成事業を実施する。 ・地域資源の発掘調査、磨き上げを行い、多様な里山ビジネスの創出を目指す「里山ビジネス振興計画」の策定に取り組む。 ・計画策定と平行して、商品開発力や情報発信力の向上に向けた交流イベント、里山空間の整備を実践し里山ビジネスを創出する。	
計					9,354	4,000			